

I-④ いじめに関するその他活動（①～③に分類できない教育実践）

（京都教育大学）

活動名：平成24年度京都教育大学人権教育講演会 I
「ネット社会の人間関係ーネットいじめへの対応ー」

対象者：本学全教職員、本学学生

実施期間：平成24年11月16日 （16：30～18：00）

活動場所：京都教育大学 講義室

講師：佛教大学教育学部学部長 原 清治 氏

参加者数：70名

共催： 京都教育大学学生自治会

活動の目的：本学の人権教育を促進するため、教職員及び学生を対象とした講演会を実施する。今回は特に、人権の視点から、いじめの予防や対策について考える。

活動内容： ○開会挨拶（京都教育大学人権委員長）

○講師紹介

○講演

- ・今日の児童生徒の人間関係
- ・ネット社会における大学生の人間関係
- ・児童生徒の携帯利用の実態
- ・いじめの今日の特徴
- ・大学生のネット利用の実態から
- ・京都市の高等学校アンケート調査からみるネットいじめ
- ・ネットいじめの特徴～加害者と被害者の逆転現象、学力移動との関係、ケータイ依存の原因、「ネタ」的コミュニケーションとしてのいじめ、ネットいじめによる被害の深刻さ
- ・ネットいじめを減じるための方策
- ・対人関係力「人間力」育成の重要性
- ・ネットいじめの問題を通して人権について考える

○質疑応答

○閉会挨拶（京都教育大学学生自治会代表者）

I-④ いじめに関するその他活動 (①～③に分類できない教育実践)

(京都教育大学)

活動名：平成24年度京都教育大学人権教育講演会Ⅱ「学校でのいじめ—その理解と対応—」

対象者：本学全教職員、本学学生

実施期間：平成24年12月5日 13:30～15:00

活動場所：京都教育大学 講義室

講師：京都教育大学教授 本間友巳 氏 (教育臨床心理学)

参加者数：38名

活動の目的：本学の人権教育を促進するため、教職員及び学生を対象とした講演会を実施する。今回は特に、人権の視点から、いじめの予防や対策について考える。

活動内容： ○開会挨拶 (京都教育大学人権委員長)

○講師紹介

○講演

いじめを、人権の視点からどのように考えるべきかについて説明があり、その後、これまでの日本の学校でのいじめの経過や現状について解説された。そのうえで、どのようにいじめを予防し対応しておくかについて説明があった。

○質疑応答

○閉会挨拶 (京都教育大学人権委員長)

I-④ いじめに関するその他活動（①～③に分類できない教育実践）

（兵庫教育大学・大学院学校教育研究科）

I. 大学院学校教育研究科 人間発達教育専攻 学校心理・発達健康教育コース

浅川 潔司 教授（専門分野：発達心理学・学校心理学）

- ・加西市教育委員会からの委嘱により、加西市総合教育センター夜間相談として、いじめが言人となる不登校や投稿しぶりの相談を受け、実践的な解決の方途について、保護者や教員等と協力して解決策を実践している。

II. 大学院学校教育研究科 人間発達教育専攻 臨床心理学コース

有園 博子 教授（専門分野：臨床心理学）

【年間通しで必要に応じて実施しているもの】

- ・県立特別支援教育センター「ひょうご専門家チーム」での個別相談ケース対応
- ・兵庫教育大学神戸サテライト臨床心理相談室における、教職員からの相談・ケースコンサルテーション等（単回相談・継続相談）

【講演およびスーパービジョン依頼】

- ・県教育委員会依頼「高等学校初任者研修会」対象：初任者教員約 650 名
講演＜教職員のためのメンタルヘルス・ストレスマネジメント＞
- ・神戸市人権教育研究協議会での講演 ＜学校園における人権教育の課題＞
対象：神戸市立学校職員 200 名
- ・神戸市男女共同参画センターでの講演＜新しい親子関係を作るために 子どもの発達を学ぼう＞
対象：神戸市、近隣市約 20 名
- ・小野市市民安全部ヒューマンライフグループ 第 1 回いじめ等相談スーパービジョン ＜事例相談＞
市関係者：約 15 名
- ・小野市市民安全部ヒューマンライフグループ 第 2 回いじめ等相談スーパービジョン ＜事例相談＞
市関係者：約 20 名
- ・NPO 法人ひょうご被害者支援センター ＜電話相談員継続研修会＞：内容：いじめ電話相談事例のロールプレイ含む
- ・三田市まちづくり協働センター 女性のための相談員へのスーパーヴァイズ研修：内容：子どものいじめも含む母親からの相談事例
- ・特定非営利活動法人 子どもフレンドリーネット・神戸 電話相談員への継続研修：内容：子どもからのいじめ電話相談のロールプレイ研修、親からの電話相談のロールプレイ研修

※いじめを虐待やDVを含むものととらえると、その他多数の講演会およびスーパービジョンを行っている。

I-④ いじめに関するその他活動（①～③に分類できない教育実践）

（兵庫教育大学・大学院学校教育研究科）

Ⅲ. 大学院学校教育研究科 教育実践高度化専攻 生徒指導実践開発コース

新井 肇 教授（専門分野：生徒指導）

【講演，講義等】

1. H24.10.9 「いじめ問題の理解と対応」（講義と演習），尼崎市特別臨時研修（生徒指導），
対象：市内小・中学校生徒指導主事・管理職（80名），於：尼崎市教育総合センター
2. H24.10.12 「いじめ問題の理解と対応」（講義と演習），兵庫県立東播工業高等学校校内研修
対象：兵庫県立東播工業高等学校教職員（55名），於：兵庫県立東播工業高等学校
3. H24.10.16 「いじめ問題の理解と対応」（講義），高砂市生徒指導研修講座
対象：市内小・中学校生徒指導主事対象（40名），於：高砂市役所南庁舎
4. H24.10.17 「生徒の現状理解とこれからの生徒指導～いじめ問題の理解と対応～」（講義と演習），
伊丹市立伊丹高等学校校内研修，対象：伊丹市立高等学校教職員（45名），
於：伊丹市立伊丹高等学校
5. H24.11.12 「いじめ問題の理解と対応～地域で子どもを見守るためにできること～」（講義），
ひょうご放課後プラン事業研修講座，対象：地域コーディネーター・市町村教育委員会事業担当者
（100名），於：兵庫県立のじぎく会館
6. H24.11.30 「いじめ問題の理解と対応」（講義），明石工業高等専門学校講演会，
対象：明石工業高等専門学校教職員（40名），於：明石工業高等専門学校
7. H24.12.4 「学校におけるいじめへの取り組み」（講義と演習），兵庫県立神戸工業高等学校校内研修
対象：兵庫県立神戸工業高等学校教職員（40名），於：兵庫県立神戸工業高等学校
8. H24.8.28 「学級の間関係といじめ」（講義・ディスカッション），免許状更新講習（選択領域），
対象：免許状更新講習受講者対象（48名），於：神戸サテライト

【アドバイザー，委員等】

9. H24.10.12～H25.3.31 文部科学省 いじめ問題アドバイザー
10. H24.11.1～H25.3.31 岡山県いじめ問題対応専門チームアドバイザー

I-④ いじめに関するその他活動 (①～③に分類できない教育実践)

(和歌山大学・教育学部)

毎年、多数実施しているが、2012年度に関してのみ記載する。

・池田小学校教育講演会(紀の川市立池田小学校:2012.11.11) 講師:米澤好史

「こどもを理解し、ともに育ち合うために～支え合い・高め合い・つながりの大切さ～」と題して、保護者会で講演し、いじめのない人権教育に向けてのかかわり方について解説した。

麻生津小学校「こころの健康教室」(紀の川市立麻生津小学校:2012.11.12) 講師:米澤好史

・「あなたとわたしのこころのつながり～いじめについて考える～」と題して、保護者参観のもと、小学校4年生～6年生の児童に授業を行い、いじめられた時も、いじめる気持ちを持ったときも先生、お父さん、お母さん、ヘルプ!と助けを求める大切さ、互いをわかり合う大切さを説いた。

・城山西小学校教育講演会(有田川町立城山西小学校:2012.11.1) 講師:米澤好史

「こどもを理解し、かかわることの大切さ～こども支援の心理学～」と題して、保護者会で保護者、教職員を前に講演し、いじめのない互いを認め合い、学力向上につながる支援のあり方について解説した。

・摂津市教育センター児童相談課・不登校対応研修(摂津市立コミュニティプラザ:2012.7.31) 講師:米澤好史

「いじめ・不登校未然防止のための児童生徒理解とその支援～背景から見えるものと関係機関との効果的な連携～」と題して、摂津市の教員研修として、いじめ等の攻撃行動の発見、防止と支援の仕方、不登校とその防止のための支援のあり方について、研修を担当した。

・岸和田市立山滝中学校区・幼・小・中教員合同研修会(2012.8.2) 講師:米澤好史

「こどもを理解し、お互いが連携して支援していくために～関係性支援の視点から～」と題して、幼・小・中の教員を対象に、幼小中連携の大切さを、こども理解、発達障害、攻撃性への支援の観点から研修を担当した。

・和歌山いのちの電話協会第28期電話相談員養成講座(華月殿:2012.6.2) 講師:米澤好史

「児童・青少年期の諸問題ーこどもと親の発達を理解し支援するためにー」と題し、電話相談員創成講座兼子育て支援講座として、こどもとのかかわり方について講座を担当したが、その中で、いじめへの対応と相談について触れた。

・摂津市教育センター児童相談課職員研修(摂津市教育センター:2012.4.9) 講師:米澤好史

「こどものこころの育ちと学びを支える児童家庭支援のあり方～教育センターが果たすべき役割と期待～」と題して、教育センターの相談員を対象に研修を行い、その中で、いじめ対応に触れた。

・2007年から和歌山県青少年育成協会発行のリーフレット「家族そろって新入生」の編集委員を務め、毎年、リーフレットの中で、いじめ防止、攻撃性を低め自己肯定感を高める家庭での取組について啓蒙している(編集委員:米澤好史)。

・2012、12月～2013年1月にかけて、和歌山県人権啓発センター「人権を考える公開講座：体験・体感・人権ワークショップ」でも「いじめ」という攻撃性を取り上げる予定である。

I-④ いじめに関するその他活動（①～③に分類できない教育実践）

（和歌山大学・教育学部）

- ① 和歌山県の小中学生を対象にした生活実態調査